

学校だより

富山県立ふるさと支援学校
令和3年 3月12日発行



コロナ禍の中で ～学校アクションプラン～

教頭 高木 明彦

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、学校教育にも大きな影響がありました。臨時休業で授業ができなかったり、行事が中止や規模を縮小しての開催となったりしました。そんな中であって、本校の現状と当面する課題を踏まえ、3つの重点課題（学校アクションプラン）を挙げて、その実践に取り組んできました。ここでは、その取組を報告をします。

【重点課題1】 運動に対する意識と基礎体力の向上

学校に通ってきている生徒は、全員が富山病院に入院しており、運動量が不足しがちです。高等部卒業後の生活を見据え、生徒が主体的に運動に取り組めるように、新体力テストの結果から、自分に必要な体力を考え、目標を決めて1年間取り組みました。

その結果、生徒は病室や病院の軽運動室、自宅等で、YouTube 動画等を見ながらトレーニングするなど、自分で決めた運動に取り組む姿が見られるようになりました。全員が、全ての目標を達成することはできませんでしたが、体力向上への意識の高まりが見られました。

【重点課題2】 児童生徒の異年齢交流活動の充実

本校の児童生徒は、富山病院で一緒に生活していますが、日頃から関わりが多いわけではありません。どちらかと言えば、人間関係作りや集団活動を苦手とする人が多く見られます。

そこで、お互いが主体的に関わり合うことができるように、全校の児童生徒を2グループに分け、レクリエーション活動等を行いました。企画から実際の活動までを自分たちで考え、話し合い、運営をしました。

その結果、企画したレクリエーション大会をみんなで楽しむ姿が見られ、普段の生活の中でも、学年や学部を超えて話をする姿が見られるようになってきました。

【重点課題3】 授業におけるICT活用能力の向上

これは、先生方が取り組んだ活動です。本校では以前から、タブレット型のパソコン等を使った授業が行われてきてはいましたが、デジタル教科書やiPadの普及等、近年のICTはすごいスピードで進化しています。そして、先生にはこれらを使いこなせる能力が求められています。

そこで、この1年ICT活用の研修会を7回実施し、研究授業も3回実施しました。全ての先生が使いこなせるようになるには、まだまだ研修が必要ですが、今後もし臨時休校になっても、遠隔授業ができるまでになっています。

コロナ禍の1年でしたが、コロナ禍だからこそ必要なものは何かを考えて実践することができました。今後も、コロナに負けることなく、児童生徒の教育の充実に取り組んでいきたいと思っています。



※学校アクションプランの詳細は、学校ホームページをご覧ください。

中学部

今までありがとうございました。
矢張り帰っていましたか？
お世話をなりました。
高校に行っても
かまはります。

Y・K

カレーを作ってみんな
楽しくおいしく食べ
てくれてうれしかり
たです。けっこう楽
しかったです。



M・T

中学部ではふるさと
文化祭や社会見学が思い
出に残っています。中学部
を卒業したらありがとう
と言ってもらえるような
高校生になりたい
です。

F・M

3年間ありがとうございました。
高校に行っても人ばかり
文化祭の写真展で
最優秀賞とった事が
思い出です。

M・S

中学部主任 加藤 ゆかり

今年度は行事をはじめ例年とは違うことが多くありました。そんな中でも明るい心をもって卒業を迎えることができた皆さんの成長を、うれしくたのもしく思います。皆さんのこれからは「前程万里」です。道のり遠く、そして可能性が大きく広がっています。私たちはずっと応援していますよ。

ご卒業おめでとうございます。

高等部

高等部主任 藏 浩知

「ご卒業おめでとうございます。」

コロナ感染症によって、イレギュラーな1年間でしたが、卒業を目指して努力を続け、それぞれの進路を見つけることができた皆さんを誇りに思います。皆さんに「報恩謝徳」の言葉を贈ります。

Thank you!
Good Bye



高等部 I・I

先生方ありがとうございました。
4月がさもがんばります。

高等部 F・T

3年間楽しかった
です。ありがとう
ございました!!



高等部 T・R

新しい環境でも
頑張ります。
楽しい思い出を
ありがとう
ございました。


高等部 M・M

3年間楽しい
学校生活を送
りました。
ありがとうございました。

高等部 W・S

楽しい学校生活
を送りました。
ありがとうございました。
高等部
大橋 蒼也

いまままで
ありがとうございました。



高等部 M・K

訪問教育

愛未ちゃん卒業おめでとう。元気で笑顔いっぱいにご過ごせて良かったね。これも学校の先生方の協力があったからだ、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

高等部についてからも、元気で笑顔を絶やさず頑張ってるね。

中学部 遠藤愛未 母より

いっちゃん、卒業おめでとう。学校が大好きで、先生たちや友達との関わりの中で大きく成長できたことがとても嬉しく、感謝の気持ちでいっぱいです。一日一日を元気に楽しんで過ごしてこられた学生時代が、今後の日々へとつながりますように。たくさんの愛情を与え、支えてくださった皆様、ありがとうございました。

高等部 内田一太 母より

中学部卒業おめでとう。小さかった将輝がもう高校生ですね。時の流れが、とても早く感じられます。今年はコロナの影響で授業が中止になった時期もありましたが、その中でも新たな発見やたくさんの体験がありました。何よりも3年間を無事に終えたことを嬉しく思います。学校の先生方、病棟職員の皆様の温かいご支援に感謝いたします。

中学部 K M 母より

訪問教育主任 杉本 一美

ご卒業おめでとうございます。みなさんは今の学校や今の学部にて、たくさんの人との関わりから、心も体もぐんと大きくなったのではないかと思います。その積み重ねを確認しながら、次のステージでも新しい生活を楽しんでいってください。

卒業生を送る会

2月25日(木)本校体育館にて、卒業生を送る会を行いました。前半では、卒業生と在校生対抗の学校に関するクイズや思い出ムービーを観賞し、「懐かしい」などの声が上がっていました。また後半では、在校生が感謝の気持ちを込めて書いた色紙を卒業生に贈呈



しました。卒業生からは、サプライズで卒業制作を披露してくれました。

生徒会執行部を中心に、心を込めて準備した卒業生を送る会を生徒も教員も楽しむことができました。



卒業の集い

2月24日(水)に訪問教育の「卒業の集い」を行いました。拍手の中、卒業生が入場し、3名の紹介がありました。楽しかった活動、頑張った活動、それぞれのエピソードなどが紹介されました。続いて、校長先生からビデオでお祝いの言葉がありました。



次にくす玉につながれたロープを3人で引っ張り、見事に、くす玉が開きました！

最後に「思い出のアルバム」で入学・転学してから現在までの様子を写真で振り返りました。いろんな場面がよみがえってきて自然に参加者が笑顔になりました。保護者の方、病棟の方にも参加していただき、とても温かい会になりました。



F 交流会

グランツとA（エエ）チームに分かれて「レクリエーション大会」と「かるた大会」をしました。「レクリエーション大会」では、ボッチャ等4種目の競技をし、訪問教育の児童生徒は的当てをして競い合いました。



「かるた大会」では、各チーム二人一組で百人一首を行い、ローテーションで対戦相手を替え、チームの合計枚数を競いました。普段関わり合いの少ない生徒たちが声を掛け合ったり、一緒に盛り上がったたりする姿をたくさん見ることができました。



中学部 社会見学

八尾婦中ライオンズクラブからのご厚意により、富山市科学博物館に出かけました。プラネタリウムで天動説と地動説について学んだり、サイエンスライブでモグラとヘビについて学芸員さんのお話を聞いたりしました。

今年度初めての校外での活動で、仲間と楽しく、有意義な時間を過ごすことができました。



ロボットプログラミング選手権 近畿・東海・北陸地区大会

本校からA・Bチーム計4名が参加し、ネット中継されました。工夫を凝らしたプログラム同士、大接戦のトーナメント戦の結果、Bチームがみごと準優勝に輝き、全国大会への出場を決めました。



訪問教育活動紹介

コロナ禍で、今年の重心病棟訪問教育は、病棟内でマンツーマンの一日1回15分の授業です。そこで新しい試みとして、2学期終業式、3学期始業式は学校と3つの病棟をオンラインでつなぎ、お互いの顔を見えるようにして実施しました。iPadに映る友達を注視したり、校長先生の声にきょろきょろ目を動かしたりする児童生徒の様子は、友達や担当以外の先生の存在を感じているようで、人と関わる活動の大切さを改めて感じました。



ふるさと文化祭

10月10日(土)に行われたふるさと文化祭では、各学部のステージ発表と作品展示、ふるさと写真展を行いました。中学部と訪問教育のステージ発表は、これまで学習し、まとめたことをそれぞれ工夫を凝らして発表しました。高等部は生徒がシナリオを考えた劇を全員で作りました。作品展示では、美術や書道、家庭科等の作品や、生徒会で行った交流活動について展示され、どれも見応えのあるものばかりでした。



ふるさと文化祭の準備から本番まで、学校が一つにまとまり、大いに盛り上がりました。

全国特別支援学校文化祭

受賞おめでとうございます

第27回全国特別支援学校文化祭に県代表として、高等部3名の生徒が出演した作品が以下のとおり受賞しました。

- 【書道】「夢と希望」3年 W・Sさん
全国特別支援学校病弱教育校長会長賞
- 【写真】「夜の嵐」1年 K・Tさん
全国特別支援学校文化連盟会長賞
「海王丸パーク」1年 M・Mさん
全国特別支援学校病弱教育校長会長賞

なお、K・Tさんの作品は、今年7月下旬に和歌山県で開催される全国高等学校総合文化祭に出展されます。

読書の集い

今年度は図書委員会の発表が中心の開催となりました。中でも絵本を題材にした創作劇では、仲間と一緒に強く生きていこうとする主人公の姿に感動を呼びました。先生方による本の紹介もありました。

